

公益財団法人 生協総合研究所

事務局使用欄 受付番号ー

アジア協同組合の人材開発のための公募助成事業 申請書 申請日 2011年 10月 1日

1. 申請団体概要<前年度事業報告書・会計書類および本年度事業計画書、役員名簿を添付のこと>

団体名 (法人種別も記入すること)	正式名称<略称> : NP0法人 フィリピン自立支援の会 <ILNPJ> (英文) Independent Living Network <ILNPJ>
本部所在地	住所 : 〒141-0123 品川区北五反田1丁目1-1-205 URL: http://www.ilnpj.jp/
代表者	氏名(ふりがな) : 生協 栄子(せいきょう えいこ) 役職 : 理事長 住所 : 〒141-0123 品川区北五反田1丁目1-1
担当責任者	役職 : 支援事業主事 氏名(ふりがな) : 生協 一郎(せいきょう いちろう) TEL : 03-1234-5678 FAX : 03-1234-5679 E-mail : abc@aaa.or.jp
団体設立年	1997年 (法人化した年 : 2002年)
機関会議開催頻度	年 6 回程度
団体概要(主な活動内容・ミッション)	フィリピンにおける貧困状態にある子どもおよび障害を持つ人々とその家族の自立を支援することを目的に、現地における仕事づくりや職業訓練を行っている。
人材育成・人材開発等に関わる主な事業実績(国内外問わず)	・2009年～ フィリピンにおけるケースワーカーの育成講座の実施 ・2010年～ 職業訓練に関する研修生の受け入れと研修の実施
現地カウンターパート団体	(和文) フィリピン自立支援ネットワーク (英文) Independent Living Network Philippine(ILNP)
団体概要と提携の実績	フィリピンにおける障害をもつ人々の支援組織であり、かれらの自立生活とエンパワーメントを目指している。2005年より、受け入れ研修・講師派遣を相互に行い、連携を行っている。
所在地	住所 : 5470 Roxas Boulevard, Pasay City, Metro Manila, 1300, Philippines URL: http://www.ilnp.org.ph/
担当責任者	役職(和文) : CEO 氏名(カタカナ) : Cornelio T. Peralta(コルネリオ・ペラルタ) TEL : +63 (632) 556-1890 FAX : E-mail : aaa@ilnp.org.ph

2. 申請事業

事業名	(和文) フィリピンにおける障害をもつ子どもへの支援者養成プログラムの実施	
	(英文) Training programs to help children with disabilities in the Philippines	
申請金額 (事業総額)	金 926.24 千円 (事業総額 金 1806.24 千円)	
実施予定期間	(事業実施予定期間) 自 2012年 4月 1日 ~ 至 2013年 2月 28日	
実施予定国・地域	国: フィリピン	
	地域: ミンダナオ島	
事業実施に至る当該国の社会情勢や背景	障害をもつ子どもとその家族を支援する公的な制度は、フィリピンにおいては未整備であり、民間の非営利団体が活動する必要がある。また、その際に支援者となるようなケースワーカーの育成と、かれらが自立して活動できるような協同組合の形成が求められている。	
実施事業内容・方法	・ 申請事業の目的、具体的な内容、方法について、わかりやすくお書き下さい	
実施計画 (4月～2月までの計画を、月ごとにご記入下さい) ※2事業年度にわたる場合は、枠を拡げてご記入下さい	2012年4月	「覚え書き締結」、助成金振込
	2012年5月	ワークショップ準備委員会開催
	2012年7月	ワークショップの開催 (フィリピン)
	2012年9月	中間報告書書 提出
	2012年10月	ワークショップ成果発表会 (日本)
	2012年12月	成果報告書作成
	2013年2月	事業完了
	2013年3月 2013年4月	完了報告書 提出 事業成果報告会参加
実施体制と分担 (従事するスタッフ人数、部局等について詳しくお書き下さい)	< I L N P J > ・ 専任スタッフ1名(週3日勤務: 支援事業担当) ・ ワークショップスタッフ3名(ワークショップの期間のみ)	

対象期間は2月末日までです。

複数の対象国にまたがるばあい、すべてをお書き下さい。

2012年度アジア生協協力基金 申請書

		申請書		画	
		謝金の場合、対象者と単価と役務を明記して下さい。		費用額	
経費	費目	金額		算出根拠・備考	本事業全体に関わる費用を計上して下さい (本助成金対象金額だけではなく)
	ワークショップ 会場使用料	¥100,000		現地団体負担	
	講師謝金	¥90,000	¥90,000	ワークショップ講師への謝金, 3名 (障害者福祉の専門家, 現地NGO代表・家族の会代表) @30,000	
	通訳費用	¥20,000	¥20,000	基調講演 (2時間) の通訳, 現地で手配	
	交通費 (日本-フィリピン)	¥300,000	¥300,000	5名分 (スタッフ4名, 講師1名) @50,000	
	宿泊費	¥75,000	¥75,000	5名 * 3日 @ 5,000	交通費, 宿泊費, 食費等は算出根拠を明確にして下さい
	食費	¥45,000	¥45,000	5名 * 3日 @ 3,000	
	現地交通費	¥20,000	¥20,000	レンタカー費用	
	人件費	¥75,600	¥75,600	ワークショップスタッフ 4名 * 6時間 * 3日 * 時給1,050円	
	人件費	¥980,000	¥200,000	専任スタッフ (1名) 20日 * 10,000円	人件費の計上も可能ですが, 同様に算出根拠を明示して下さい。
	報告書作成費用	¥100,000	¥100,000	A4判32頁, モノクロ 500部印刷	
	伝達式・成果報告会参加旅費	¥640	¥640	¥160 @ 2往復	
	小計	1,806,240 円	926,240円		

3. 申請の理由

この助成を必要とする理由 (可能でしたら協同組合の振興がもたらす効果についても言及していただけると幸いです。)	・ できれば, 協同組合の必要性と可能性についての言及をお願いします。
助成によって期待される効果	支援先国における効果 ・ この事業によって, 対象国における社会情勢や困難の解消にどのような効果があるのか, 記入をお願いします。
	育成する人材への効果 ・ 本事業をととした人材育成によって, 対象とする人々にどのような効果があるのか, 記入をお願いします。
	貴団体における効果 ・ 助成事業を行ったことで, 団体にどのような力がつくと思えるのか, 記入をお願いします。

2012年度アジア生協協力基金 申請書

事業の独自性・先駆性	・この事業がなぜ今求められていて、どのような点が新しいのか、何をふかしようとしているのか、記入をお願いします。
------------	---

4. 他の資金の活用状況＜現在同様のテーマで申請中・実施中の事業があればお書き下さい＞

資金提供元	実施期間	金額	ステータス
トヨタ財団 アジア隣人プログラム	2011年5月～2012年4月	100千円	☐ 申請中 ☒ 実施中

5. 当助成プログラムを知った経緯：

当プログラムに応募するきっかけとなった媒体についてお答えください（複数回答可）。今後の参考にさせていただきますのでご協力のほどお願いします。なお本質問事項は、選考とは全く関係ありません。

- ☐ 紙媒体の応募要項
- ☐ ウェブサイト（生協総合研究所）
- ☐ ウェブサイト（生協総合研究所以外）（ホームページ名：「_____」）
- ☐ メーリングリスト（メーリングリスト名：「_____」）
- ☐ 会報・機関紙・ニュースレター（媒体名：「_____」）
- ☐ 新聞・雑誌（媒体名：「_____」）
- ☐ 知人・友人の紹介
- ☐ その他（具体的に：_____）
-

チェックリスト：下記必須書類が全てそろっているか、最後にご確認下さい。

【必須提出書類】.....

- ☐ 申請書（この書類）
- ☐ 前年度事業報告書・決算書等／今年度事業計画書・予算書等
- ☐ 役員名簿
- ☐ 定款・規約等
- ☐ 官製はがき1枚（受理確認用）
- ☐ 返信用封筒1枚（80円切手貼付のこと）

【任意提出書類】.....

- ☐ 団体パンフレット・事業案内等
- ☐ その他（_____）

送付先：

〒102-0085 東京都千代田区六番町15プラザエフ6F
公益財団法人 生協総合研究所 アジア生協協力基金公募 係
電話：03-5216-6025